

情報提供資料

平成22年7月16日

日高市

市民生活部 産業振興課

TEL 042-989-2111(内線)3314

担当者職・氏名 主幹 西嶋義彦

件名 日高市の「ブルーベリー」が市立保育所のおやつに登場

日高市の新たな特産品「ブルーベリー」が旬を迎えています。市では、「ブルーベリー」の周知と地産地消を推進するため、下記のとおり、市立保育所のおやつの時間にブルーベリーを提供します。

この取組は昨年から行なっておりますが、大変好評だったため今年も実施するものです。21日(水)は「バナナブルーベリーフレーク」に、29日(木)は「フルーツヨーグルト」に生のブルーベリーを使用します。

献立の作成にあたっては、人気のある果物や乳製品を使用したメニューにブルーベリーを加え、園児に喜んで食べてもらえるよう工夫をしました。

日高市では、耕作放棄地の有効活用策としてブルーベリーの栽培が盛んになっており、今回提供されるブルーベリーは「日高市ブルーベリー研究会」の会員が市内農園で生産したもので、園児たちに旬を味わってもらいます。

記

- 1 日 時 平成22年7月21日(水)、29日(木) おやつの時間(午後3時ごろ)
- 2 対 象 市立保育所(高麗川保育所、高麗保育所、高根保育所)の0歳児を除く園児(約300名)
- 3 そ の 他 日高市のブルーベリーは、市内直売所やスーパーにおいて100グラム200円程度で購入できます。市内には10ヶ所程の摘み取り体験ができる農園もあります(7月～8月頃)。日高市ブルーベリー研究会は、平成17年に栽培技術向上や生産から販売までの調査・研究を目的として設立され、市の新たな特産品にするよう努めています。日高中央直売所におけるブルーベリーまつり(7月25日)の開催や市民まつり(11月13、14日開催予定)への出店も予定しています。また、小学生が夏休みにさまざまな体験教室に参加できる「ひ・まわり探検隊」の摘み取り体験とジャム作りの受け入れも行なっています。